

読む人の
幸せを
心に願って
作る

no.512

喜びの タネまき 新聞



写真・市谷 健「お山は今ごろ雪だろか」

加盟店の卒業式で

先ごろ、ダスキンで卒業式を開きました。創業して四十八年も経過すると年に数店ですが、加盟店さんの都合でダスキンの店を閉められる方がおられます。長年にわたって加盟店さんがお客様へのサービスを続けてくださったことへのお礼の気持ちの卒業式なのです。フランチャイズ本部と加盟店、お互いにお客様に「喜びのタネ」をお届けする仲間であった喜びと感謝を込めて、私たちはこの会を『不二の集い』と呼んでいます。

会合に出席されたご夫妻が口々におっしゃったのは、「ダスキンという仕事に巡り合って、苦勞もあつたけれど、多くのお客様に支えられてここまで来ることができました」との言葉ばかりでした。その話を聞きながら、私たちの仕事はモップやマットをお届けし、ミスタードーナツで商品をお渡ししてはいるが、それより前に「お客様に喜んでいただくこと」が何よりも大切になければならないことなのだ、改めて感じました。私を含めダスキンに関わる人には至らない点もあり、お客様からのお叱りも頂戴します。一人ひとりがお客様の喜んでくださる笑顔を生きたいとしていかなければと思います。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

満ちたり欠けたり。満月がお好きな方は多いですが、なぜか三日月の形が好きです。さえずえとした冬の月も動物たちがいると、どこか親しみ深く、温かく感じます。

「月の話」

絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。
絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一歩二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載最多記録14年目。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸越低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。



月に向かって

木の葉がそよそよとなびいたときのこと。
モモンガは大きな瞳で風の道を探していた。
風の吹く先には月がポツカリ浮かんでいる。
そのとき、
モモンガは布を四方に広げるように手足をのぼし風にのせた。
その姿は、空飛ぶ座布団だ。
行き先は、あの月まで。
三日月は、ゆらんゆらんと風に舞った。

お気に入り

深い森のなかを彷徨ったときのこと。
ヤマネが月夜の散歩と洒落込んでいた。
散歩と言っても、じつのところ
ねぐらを探しているというのがほんとうのようだ。
ところが気に入った場所は、そうそう見つからない。
早く眠りにつかなくては…。
そう、冬眠の時間が迫っていたのだ。
すると、月の光に照らされた古い帽子を見つけた。
それは寢床にちょうどよさそうな、
お気に入りのおうちになった。
月が真上にくるころ、
これから半年ほどの長い夢がはじまった。



誕生

見晴らしのよい岩塔に、月が昇ったときのこと。
ふと見上げると、そこに幼いカモシカの姿があった。
足取りはまだ危なげだが、
これからは一人で生きていかななくてはならない。
母親もどこかで、
その旅立ちをそつと祝福しているだろう。
それにしても、こちらと目が合ってからというもの、
ずっと同じポーズのまま。
カモシカは、にらめつこが大好きなのだ。
そうとなれば、今夜は月と一緒に祝いあげよう。
堂々のデビュー、おめでとう。



アレンジしだいで楽しいおやつ「洋風ぜんざいと洋風揚げもち」

おもちを洋風にアレンジしておやつ2種類を作ります。
ココナツミルクを使ったぜんざいと
シナモン風味の揚げもち。材料さえ揃えば
どちらもあつと言う間に出来る簡単レシピです。
お正月の残りも活用できます。
洋風もぜひ一度お試しを！

◎洋風ぜんざい(4人分)

●作り方

切り餅4枚使用。1枚を6等分に切り、オーブントースターに入れてこんがり焼く。並べるときには、膨らんだおもちがくっつかないように間隔を開けて並べる。
鍋にココナツミルク400ml、牛乳200ml、砂糖大さじ3を入れて中火にかけ、スプーンで混ぜながら、沸騰する直前で火を止める。沸いてくるとココナツミルクがはねるので気をつける。
深めの器に小さく切った焼いたおもち1枚分を入れ、上から温めたココナツミルクをかける。トッピングは、茹であずき大さじ1と栗の甘露煮を刻んだものをのせて完成。

◎洋風揚げもち(4人分)

●作り方

切り餅4枚はぜんざい同様、1枚を6等分に切る。180℃くらいに熱した油に入れて、こんがり揚げる。このときも、おもちが膨らむので、くっつかないように気をつけて揚げる。網に揚げたおもちをのせて、油を切る。
油を切ったおもち1枚分を器に入れて、上からメープルシロップ大さじ1をかけ、シナモンシユガー少々をふりかける。最後に、刻んだ栗の甘露煮をアクセントにのせ完成。
外はカリッと中はトロりの食感でコーヒーにもバッチリ合います。



甘い豆まや ぜんざいもちもOK



洋風ぜんざい



洋風揚げもち

おやつの時間
簡単、美味しい楽ラクレシピ

お料理研究家 こいけりえ



本紙『ほへみのひろば』
の本が出版されます



この度、およそ40年に渡り続いている読者投稿コーナー『ほへみのひろば』の一部のお話が1冊の本になり、マガジンハウスより出版されます。
お話はテーマごとにまとめられ、約180話が掲載されています。掲載当時の時代背景を感じさせるお話や、今も変わらないほのぼのとする家族団欒のお話など、周りの人たちとのふれ合いがたくさんつまった本です。

【テーマ】

- ◎絆 ◎感謝 ◎出会い
- ◎伝えたい ◎子どもの心 他

発売日：2012年1月12日(木)
出版社：マガジンハウス 予定価格：1,100円(税込)
お求めは、最寄りの書店、オンライン書店、マガジンワールド (<http://magazineworld.jp/>) にて。

「喜びのタネまき新聞」編集室及び、
ダスキンを通しての販売は行っておりません。

※この本の売り上げの一部は、財団法人「広げよう愛の輪運動基金」に寄付されます。

国際コンクールで はじける笑顔!

三重県^{おうか}相可高校といえば
テレビドラマのモデルになった「まごの店」でつとに名高い。
教諭の村林新吾さんも本紙の一読者だそうです。
台北で開かれた国際高校生料理コンクールに
出場とお聞きして、わくわくしながら伺いました。



後ろの赤いネクタイの生徒は開平高校。すぐ働く態勢でいるそうで、熱心。伸びる子とそうでない子の差がつくのだとか。

参加のきっかけは4年前
いきなりメールが飛んできた

三重県多気町の県立相可高校。食のスペシャリストの育成を掲げる食物調理科が有名で、03年の「スーパー専門高校」に指定された。
料理コンクールで優勝した生徒も多く、地元の食材を使った本格的レストラン「まごの店」には、土日営業の50席を求めている。全国から客が押し寄せる。

お店は食物調理クラブの課外活動で、それを率いるのが村林先生。現場でこそ生徒は伸びると、接客や言葉づかいまで料理の全てを学ぶ。今や町の看板店で、地域貢献の拠点。その上、4年前から国際活動も!
「いきなり参加の誘いが来たんですよね」
と先生はいとも簡単に言うのである。

今回の大会には、環太平洋を中心とした7カ国10チームが出場。オーストラリア、ニュージーランド、タヒチ、台北、初参加の上海の高校も。各校2名ずつで腕を競った。

会場の台北開平高校を訪ねると、実習の真っ最中。台北で有名なシェフが台湾料理を教え、中国、英、仏語が飛び交う。先生は日本語だ。「そこだ。振ってみせろや! 中川」中華鍋が振られビーフンが高く上がる。他国の生徒が闘争心のこもった目でちらつと見る。皆、高校生というよりプロの眼差しだ。
皿に盛り、台北シェフの前に出すと「水分が多過ぎ」見ただけで分かるのである。

「炒め直せ」先生の言う通りしたら美味しくなった。「インターナショナルなレベルの体験が大事。調味料も国によって違う」日本と違う大粒の砂糖や、砂糖に見える塩もある。次の料理になると、先生がまた声をかけた。「卓郎! 見ておけ。シエフの煮つめ具合!」。



成績発表の後、緊張がとけ笑顔の生徒。白い帽子は高くなるほど偉いそうだが、この場では関係なし。

先生のモットーは
「料理は心 夢は無限大」

コンクール本番中は入場禁止。先生や関係者60人は別室でスクリーンを見つめる。課題は「アップルジンジャーとグリーンソースで味わう牛ヒレ肉のステーキ……」という長い名前のフランス料理だ。審査員は5人。

先頭切って持ってきた日本チームに、皆が立ち上がり拍手が出る。先生は「低温調理法だから柔らかい」と余裕。もちろん審査員は食べて最終の採点をし、総合点を出す。

結果は金メダル。だが、台北にわずかの差で総合2位。「炭水化物が少ない」という拍子抜けする理由だった。うーむ、日本は色彩のセンスも飛び抜け、誰が見ても輝いていた。が、良く考えれば、基本を学ぶ高校生という観点なら公平なのかも…。

今回、一番驚いたのは国により量や盛りつけが異なり、見たため全く違う料理だったこと。文化が違い、世界は広い。それに村林先生の行動力もすごい! 三重県から全国へ、海外へも打って出て、次世代をひたすら育てているのである。

the international secondary schools culinary challenge 2011



フランス料理。けれど日本人らしい繊細さが美しく思わず食べたい。うーむ、味見したかった!

3日間の合宿で缶詰状態。遊ぶ時間もない。中華鍋の実習は台北ならではのサイン。





ホットな気持ち

福岡県宇美町 山下澄子

私は新聞の集金をしています。12月に入り、いよいよ冬本番。外回りをしていると、急に冷え込んでくることもあります。

先日、集金へ行った先で、たまたま奥様がお留守で、息子さんが代わりにお金を支払ってくれました。我が子と同じくらいの年齢です。「急に寒くなったので、これを使ってください」帰りぎわに、ホッカイロを差し出され、ありがたく使わせていただきました。若いのによく気がつくなあと、優しい青年に心も体もホットな気持ちになりました。

——読むだけでもあったまります！



お互いさま

岩手県金石市 佐藤美由紀

5年程前の年末年始、兵庫の明石の知り合いを訪ねました。友達に借りた車で神戸へ走行中、車の調子が悪くなり、ついに止まってしまいました。元旦で一般のお宅の前。庭で遊んでいた女の子に「あの…、お父さんは…？」ちょっとつかつかい60代男性が出てきてくれました。バッテリーをつないでも車は動かず、営業中のガソリンスタンドを探してもらい、ガソリンを入れても動きません。結局、友達に代車とレッカー車を持ってきてもらいました。

「元旦からご迷惑を…。せめてお礼を」ご主人に5千円札を渡そうとすると、「お金はいらない。岩手から来て大変だったな。次はお前さん達が困っている人を助けてくれ」との一言。

そして1年半前の夏、地元岩手のファーストフード店の駐車場で、大学生の男の子達が、車のバッテリーがあがって困っていました。車を横につけ、四苦八苦でエンジン復活。「助かりました」と言われ「今度は誰かを助けてあげて」。5年前のご主人は言っていたのです。「お互いさまだから」って。

——「お互いさま」っていい。



孫の笑顔で

福島市 佐藤寿子

東日本大震災では自然の力の大きさを改めて感じさせられました。私の住む地域は、いまだに余震が起こり、原発問題にも悩まされています。

まだ寒い頃、用事で娘が外出しました。「お母さんすぐ帰るから。地震が来たら、お兄ちゃん、皆をお願いね」出かけてすぐ地震があり、小さな孫娘が泣き出し、お母さんを探して玄関へ。体が不自由な私が「お兄ちゃん、お願い！」と声をかける間もなく、長男は妹をだっこして、コタツへ。次男もお兄ちゃんのすぐそばで、フトンの中へもぐる体勢。すぐ揺れはおさまり、ホッとして思わず笑顔になりました。

兄弟2人の毎日のケンカに私は怒ってばかりでしたが、小3の長男は小さいながらしっかりしていて、10日あまりの断水の時もバケツを持って手伝い、頼りになるものだと思直しました。被災地はどこも大変ですが、皆さんと同じく私も子供の笑顔に元気をもらっています。

——笑顔で、気持ちが和むんですね。



事件でした！

福岡県朝倉市 池田紀美子

昨年の暮のことです。自分の不注意とは言え、コインランドリーの駐車場で車上荒らしにありました。車の窓ガラスが割られ、暮から正月にかけて買い物をしようと、引き出しておいたお金の入った財布を盗まれてしまいました。窓ガラスを直すための車の修理代と、今後の生活費をどうしよう…。途方に暮れました。

そんな時、23歳と21歳になる娘達から、「車の修理代と生活費に」とお金を渡されました。娘達が連絡を取り合い、お金を出し合ってくれたのです。まだまだ子供だとはかり思っていたのに、二人からの思いがけない心遣いに胸が熱くなりました。

「娘たちよ、ほんとうにありがとう」

——やさしいなあ。



うちの流行

兵庫県播磨町 浜村数子

私と4歳の孫は「何と何ですか?」と言って遊ぶ。広告紙の下に両手を隠し、指で作った数を当てるのが流行である。孫は当たらないとガツカリ。その内に悲しそうな顔をして、最後はこぶしで机をドンドン叩き、悔しさを表す。

そこまでするとかわいそうになり、当てるように細工をする。孫は「ヤッターヤッター」と大喜び。次は私が当てる番である。なかなか当たらないと泣きまねして、悔しさを表す。

すると今度は孫の方が「次は当たると思うよ。何と何ですか?」と聞く。答えを言うと、紙がモゾモゾして指を動かしているのが解る。「はい、当たりです」と両手を出してニッコリ。手加減や思いやりも育っているのがうれしい。

——4歳でも、遊びはタメ。

「ほらほら、見てごらん!」



岡山市 三宅和美

あなたのお便りや写真をお寄せください

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先
〒163-0223
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル23階(私書箱47号)

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5909)6703
e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

無料 おそうじ相談 実施中!
ダスキンコールセンター
平日の9:00~17:00
0120-100-100

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます
http://www.duskin.co.jp/torikumi/tanemaki/index.html

●2ページの「中村みつをさんのアトリエ」
〒167-0022 東京都杉並区下井草5-12-10-109

●4-5ページの「相可高校」の連絡先
〒519-2181 三重県多気郡多気町相可50
三重県立相可高校 食物調理科 教諭 村林新吾
電話:0598-38-2811 FAX:0598-38-3994

・まごの店 土日祝日営業(臨時休業あり)
〒519-2174 三重県多気郡多気町大字五桂956
「五桂池ふるさと村」内 電話:0598-39-3860
http://jr2uat.net/mago/mago.htm

相手のよさを見つけ出す

相手を悪く言ったり、

思ったりしてはならない。

それは、相手のためではなく、

自分自身を、いやしいものにしてしまうからだ。

それよりも、相手のよさを見つけ出すことだ。

それは相手にお世辞を言うことではなく、

相手の人格を尊重する事だ。

そうして、それが、自分の人格を高めるのだ!

相手を悪く言つて、解決が出来ることは、

ほとんどない。

そんなことより、自分が反省することだ。

鈴木清一

チャレンジ!

～あの瞬間を今に～

★'95～'96 アメリカ合衆国

第16期海外研修派遣生
大阪市立聴覚特別支援学校 教師

堀谷留美さん
(聴覚障害)

地域の学校に通っていたので手話を覚えたのは大学生の時でした。友人との会話が楽しく世界が広がりました。それまでは人の口の動きを読み取り、言葉を発する教育を受けてきました。愛の輪の研修でアメリカの教育現場を視察し、手話を使った教育など多様な教育方法を学びました。ろう学校の教師となり12年。「一つの方法にこだわらず生徒に合わせて幅広い手法で指導したいです」。

このコーナーについては
広げよう愛の輪運動基金まで。

☎06-6821-5270 HP(<http://www.ainowa.jp/>)

今年30周年を迎える愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障害のある若者に、海外での研修支援を行っています。

第 5 弾

大掃除川柳

ダスキン大掃除川柳コンテスト

応募期間 / 2011年11月14日(月)～2012年1月10日(火)

■応募方法

- ① パソコン・携帯のサイトからの応募：ダスキン大掃除川柳コンテストホームページ(パソコン・携帯)内の応募フォームを活用ください。
 - ② 郵送での応募：〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33 (株)ダスキン 大掃除川柳コンテスト事務局
 - ③ ファックスでの応募：ファックス番号 06-6330-2688 お掛け間違いのない様にお願ひ致します。
- ※川柳作品と必須項目(住所・氏名・ペンネーム・性別・年齢・電話番号・メールアドレス)をご記入、または、入力しご応募ください。
- ※未成年者の場合は、事前に親権者の同意を得たうえでお申込みください。お申込みがあった場合は親権者の同意を得たものとして取扱います。

■応募点数

1回につき3作品までご応募いただけます。別作品であれば何度でもご応募いただけます。

■発表

ダスキン大掃除川柳コンテスト専用ホームページ(575.duskin.jp)と専用携帯サイト(575.duskin.jp/m)にて発表(2012年2月3日予定)。入選者には直接通知いたします。

○たくさんのご応募、お待ちしております。

パソコン <http://575.duskin.jp> 携帯電話 <http://575.duskin.jp/m>

お問い合わせ/株式会社 **ダスキン** 広報・広告部 ダスキン大掃除川柳コンテスト事務局 TEL.06-6821-7856(受付時間 月～金 10:00～17:00) ※土日祝を除く

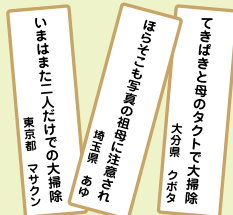
ダスキンのお客様係募集中!!

詳しくはwebで

お客様係

検索

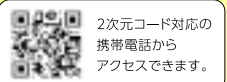
※お仕事内容や募集要項をご覧ください。



〈第4弾 大賞受賞作品〉



〈審査員 川柳作家 やすみりえ氏



2次元コード対応の
携帯電話から
アクセスできます。



携帯からも
アクセス

お楽しみクイズ

五・七・五の季語が入らない
短い詩を何という?



正解者の中から30名様に
「キッチンきれいセット」を
プレゼント!



下記の要領でご応募ください。

◆ハガキに

- ①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別
- ⑦電話番号⑧現在ご利用のダスキンの店名をご記入の上、下記あて先までお送りください。

◆あて先

〒163-0265
(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.512」
クイズプレゼント係

郵便番号は
お間違いなく!

※お楽しみクイズ専用の住所不要のあて先です。

- ◆締め切り 平成24年1月20日(金)当日消印有効
- ◆ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
- ◆当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
(平成24年2月中旬お届け予定)
- ◆応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

no.510のクイズの答えは「カ(ー)ベツ」でした。

株式会社 **ダスキン**

発行：広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp

●この新聞をお届けしているのは